

報道関係者各位

2021年3月4日
昭和電線ホールディングス株式会社
昭和電線ケーブルシステム株式会社

「健康経営優良法人 2021(大規模法人部門)」に2年連続で認定

昭和電線ホールディングス株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:長谷川 隆代、以下「当社」)および昭和電線ケーブルシステム株式会社(本社:神奈川県川崎市、代表取締役社長:川瀬 幸雄)は、2021年3月4日付で経済産業省と日本健康会議が共同で選出する「健康経営優良法人 2021(大規模法人部門)」に2年連続で認定されましたので、お知らせいたします。

当社グループでは、健康経営宣言(※)に基づく重点施策を中心とした様々な取り組みを行っております。今後も、すべての従業員が健康に生き生きと働ける環境づくりに積極的に取り組んでまいります。



■「健康経営優良法人認定制度」

地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みをもとに、特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業等の法人を顕彰する制度です。健康経営に取り組む優良な法人を「見える化」することで、従業員や求職者、関係企業や金融機関などから「従業員の健康管理を経営的な視点で考え、戦略的に取り組んでいる法人」として社会的に評価を受けることができる環境を整備することを目的としています。

(※)当社グループ「健康経営宣言」に基づく重点施策

【保健指導の推進】

定期健康診断後の再検査、精密検査の結果を踏まえ、保健指導等の実施を通じて、従業員の健康増進を図ります。

【働き方改革への取り組み】

ワークライフバランスの充実に努めるべく、働きやすい環境の構築や両立支援等の施策を推進してまいります。

【健康増進のための意識改革】

一人ひとりのセルフケア、管理職向けラインケアを行い、心身ともに健康で安心して働くことのできる環境づくりを行ってまいります。

■ 当社の健康経営に関する主な取り組み

社会インフラを支える企業として、電力の供給や工場の稼働を止めることなく、徹底した感染症対策に取り組みました。

また、女性特有の健康課題に着目し女性の健康保持・増進に向けた取り組みを行ったほか、テレワークやフレックス勤務の積極的活用などコロナ禍に対応した新しい業務習慣の促進に努めました。

<コロナ感染症対策>

- ・予防対策の周知徹底（手洗い、マスク着用、咳エチケットなど）
- ・職場の清掃・消毒の徹底
- ・「マスク」および「非接触型体温計」他、各種衛生用品の整備
- ・感染時の対応行動基準の策定
- ・リモートによる産業医面談の実施
- ・社員食堂の分散利用

<女性の健康保持・増進に向けた取り組み>

- ・婦人科健診・検診への補助（がん検診を含む）
- ・妊婦健診など母性健康管理のためのサポートの周知
- ・不妊に対する支援（通院休暇取得など）
- ・生理休暇を取得しやすい環境の整備（制度の周知や小冊子の配布など）

<コロナ禍に対応した新しい勤務形態の促進>

- ・テレワーク制度の条件拡大とサテライト勤務の推進
- ・時差出勤（フレックス）の奨励
- ・ペーパーレスによる決裁業務の推進

これらの取り組みが評価され、今回2度目の認定となりました。

今後も、産業医・保健師と連携し、積極的に健康経営に取り組んでまいります。

■ 参考

- ・昭和電線グループ CSR 特設サイト:「従業員に対する取り組み」

<https://www.swcc.co.jp/environment/csr/society/employees.html>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

昭和電線ホールディングス株式会社 事業戦略統括本部 経営企画部 IR・広報課

TEL:044-223-0520 FAX:044-223-0547